

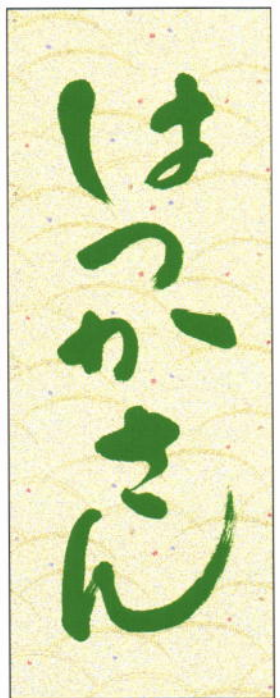


昭和51年当時 推定400年くらいの松の木

「何の故にや土人祈りて験(げん)ある時は、箒(ほうき)を納む。よって箒地藏と呼ぶ」(伯耆誌抜粋)

柏尾区の集落を少し外れた法勝寺川河畔、前河原(地名)に地藏堂がある。古くから子どものお守り地藏として安置、信仰されて来た。

残したい歴史的文化
柏尾区の**箒地藏**



第9号

発行

天津地域振興協議会
総務企画部編集委員会

印刷

米子ワークホーム



昭和51年 地藏さんごもりの様子

厄を払う事をあらわしたものと考えられ子どもの願い事が叶うと、箒を納めた。すぐそばには樹齢推定四百年くらいの松の太木があった。(現在は松枯れでない)

戦前は、春・秋の二回、地区の婦人会の接待が行われ、家族連れでにぎわった。

戦後は、小さな子どもがいる家は、赤飯を炊き、ごちそうを作って参り、お供えをした。そして、子ども達の健やかな成長を祈って、お地藏さんと一緒に食する習わし(共食)があった。これを「地藏さんごもり」と言った。

昭和五十四年には、老朽化が進んでいた地藏堂が改築工事され新しく生まれ変わった。

これを機に年に一回、世話人(有志等)が音頭をとり、八月二十三日に「お地藏さん祭り」を行っている。国道から地藏堂までの道順に百本近い松明(たいまつ)をともし、お祈りをする。その後、子どもが花火をして祭りを盛り上げていく。

近年は、子どもの数が少なくなり、このような行事が薄れる中、柏尾区は歴史的な文化として、傳承に努めている。



現在の地藏堂

現在のお地藏さん祭りの様子



柏尾いきいきサロン 紹介



柏尾いきいきサロンの会員は、男性四人、女性十一人です。高齢者に元気に過ごしてもらうためにいろいろな活動をしています。

今年、警察に「悪徳商法にあわないために」という寸劇をしてもらったり、「住宅火災について」防災コーディネーターから話を聞いたりました。

また、「笹巻きづくり」「七夕・うちわづくり」もしました。



笹巻きづくり

これまで行った活動には、安来節の鑑賞、こけ玉づくり、クッキー作りなどがあります。会員さんの要望を聞きながら、遠方へも出かけますが、費用が掛かるので年に一回しか出かけられません。それが、とても残念です。

今後はもっと、未加入者に積極的に参加を呼び掛け、会員数を増やしていきたいです。また、世話人ももう少し増やしていきたいと思っています。

(世話人代表 植田えり子)



天津地域で一・二を争う長寿者、上阿賀在住の景山睦恵さんを紹介します。

大正元年十一月三日生まれの九十八歳。取材したこの日は盆過ぎの残暑厳しい日でしたが、家には涼しげな装いの睦恵さんの姿がありました。

昭和五年、春日村(米子市水浜)から景山家に嫁いで来られたのが十九歳の時、それから六人の子ど



今年98歳とは思えない景山さん

ストレスを溜めない
それが長寿の秘訣です!

天津の長寿者

もを育て、稼業の農家を夫の明夫さんと切り盛りして来られました。

また、地域活動にも熱心で婦人会や姑会を立ち上げられました。

農家に嫁いだ嫁が姑に気兼ねすることなく出かけられるような環境づくりに力を注いで来られたそうです。

です。昭和初期のお嫁さんには珍しく、外にどんどん出ていった自分の意見を主張する方だったようで、こういった気概が現在でも感じとられるようでした。

そんな睦恵さんの長寿の秘訣は、

- ・ やりたいと思ったことはやる
- ・ 自分の意見はしっかり言う
- ・ 好き嫌いをせすなんでも食べる

です。自分の考えをしっかりと持って、何事もプラスに捉える事がストレスを溜めずに長生きできる秘訣なのではないでしょうか？また、偏食はせず、自分で作った野菜を食べることで、丈夫な体が作られているのでしょう。

ご家族に温かく見守られて、穏やかに過ごされている睦恵さんを見ると、世間で言われている「百歳以上の高齢者所在不明問題の原因は、家族の絆が希薄になったからだ」というのが嘘のように感じられました。

いつまでも、いきいきとお元気で！

全国的にも珍しい！ 集落での広報部誕生



今年四月から谷川集落で、広報部が立ち上がりました。集落の活性化に繋がるようにと、昨年度の野口卓夫区長の発案です。集落での身近な出来事や、知って得する情報提供を心掛けておられます。今年度は試験的にやってみようという事で、年間予算は一万円で、区の予算として計上されているそうです。

広報部長の野口憲一さんによりますと、広報部のメンバーは歴代の区長で構成されていて、年四回、三カ月ごとに発行、月一回の編集会議と決めているそうです。発行までの手順は構成を決めてから取材、取材した人が原稿づくり、そして必要な写真撮影まで行い、編集はパソコンを駆使して作成しておられます。

編集の中でおもしろいのが、表紙の写真を見て、その写真のイメージから、コメントを書き込むという手法です。

回覧用の印刷は本格的な業者に依頼せず、少々画質が粗くなりませんが、天津地域振興協議会の事務所のカラコピーを利用して作ら

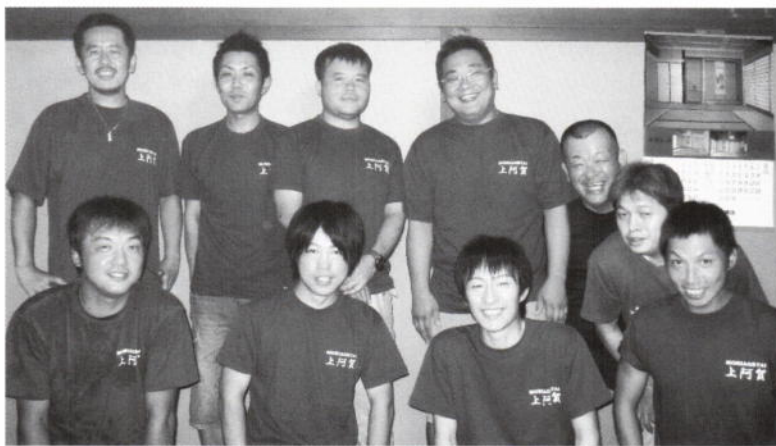


れています。広報誌づくりの中で特に気を付けておられるのが、写真と見出しを工夫した読みやすい紙面づくりだそうです。ますますみなさんに愛される「たにがわ かわら版」となるよう、ネタの提供をどんどんお願いします。みなさんの協力と応援でこの広報誌を盛り上げてほしいと思います。

上阿賀を盛り上げたい！



上阿賀の若者会・盛上隊（もりあげたい）をご紹介します。平成二十年の運動会の成績が残念な結果に終わったことをきっかけに、立ち上げた会です。若者の行事参加が少なく、どこか元気がない上阿賀集落。このままではまずいのではないかと、若者たちが立ち上がりました。現在総勢十六名の団結力ある素敵な若者たちです。



行事の前には必ず集まり、上阿賀をどう盛り上げていこうか、みんなで知恵を絞って計画を立てています。さすが若者ですね、アイデアが豊富、そしてユニークなものです。

今年はスポーツ行事をメインに活動をしていきます。目標はズバリ！運動会優勝です！これからの上阿賀は若者の手で盛り上げていきます。





八月二十一日(土) 緑水園の
テージで子ども会のキャンプをし
ました。

ー 子どものキャンプ ー

子どもたち

フォレストタウンの



毎年計画を立てて、夏休みにみ
んなでどこかへ出掛けますが、今
年は初めてキャンプに挑戦してみ
ようということになりました。

まずは、テントを張り、夕飯の
カレーづくりをしました。夕食を
食べ終わってからは、みんなで循
環バスに乗って「南部町花火大会」
を見に行きました。

フォレストタウンは現在、小学
年の子どもが少なく、中学年・低
学年の子どもが中心です。最初は
どうなることかと思いましたが、
親も子どもも楽しく過ごすことが
できました。



朝からみんな大はしゃぎでし
たが、一番楽しかったのはみんなで
行った花火大会です。とてもきれ
いでした。

反対に一番苦労したのは、テン
ト張りです。小さい子どもばかり
なので、大人の助けが必要なの
ですが、大人の方もあてもない
ころでもない四苦八苦して、汗
だくになりながらようやく完成し
ました。

いろいろ大変な思いをしました
が、みんなで作って食べたカレー
ライスや、みんなで見た花火大会
夏休みのいい思い出になったので
はないでしょうか？

(保護者より)

編集後記

今年の夏は、気温二十五度を超
える猛暑日が新記録達成かとい
うほど、暑い日が続きました。「暑
いですね」があいさつ代わりに
なるほどでした。

そんな暑い日が続いた夏なのに、
体重が少々増えてウエストが大き
くなってしまいました。今までは
いていたズボンが、ほんの少し窮
屈になってきました。

何とかウエストを細くするため
に、腹筋運動をすることとしまし
た。寝転んでテレビを見ている時
に、最低でも一日五十回はしよ
うと決心したのですが、それがな
かなか続きません。

逆に、体内脂肪が増えたように
感じます。腹筋や背筋の筋力が弱
まると、内臓を支えるために脂肪
が付いてくると言われますが、ま
さにそれです。「ぽっこりおなか」
となって、横から見ても非常にか
つこ悪いのです。所詮、自業自得な
のですが、寒くなるまでに元の体
型に戻そうと思っっているこの頃
です。

暑い夏を乗り切った九月・十月
は、夏の疲れが出やすいと言われ
ていますので、体調管理には十分
に気をつけましょう。